

第3回 コミュニティ・スクール推進定例協議会

境港市のコミュニティ・スクールの今後の取組や課題について協議

境港市のコミュニティ・スクールは、令和元年度に第一中学校区からスタートして、1年ずつずらしながら、第三・第二中学校区と指定。今年度で5年から3年を終えることとなります。

境港市教育委員会では、コミュニティ・スクールの推進上の課題を整理・解決のための方策を協議したり、各中学校区での取組の共有を図ったりするために、年間3回(学期一回)の「コミュニティ・スクール推進定例協議会」を開催しています。

先日、1月26日(金)に境港市保健相談センターで、各中学校区学校運営協議会の正副会長ならびに地域学校コーディネーターおよび教育委員会事務局で今年度の最終の会合を開催いたしました。

●各中学校区での今年度の振り返り

【第一中学校区】

2月末に予定されている学校運営協議会を含め、今年度は会合が年間3回しか設けることができなかった。

熟議も年間2回開催する予定が、未実施となり残念だった。

第一中学校では、キャリア教育を推進するキャリアアップトークとして、学校運営協議会としても協力体制をとっている。

また、地域学校協働活動として、境小学校では、地域の人と子どもたちとの交流ボッチャ大会などを実施することができた。

来年度は、学校や地域の年間予定を早めに見極めながら、ねらいを明確にした熟議を計画してみたい。

【第三中学校区】

第三中学校区では、様々な地域学校協働活動が展開されるようになってきた。その中に地域の方々がかわられることも多くなり、喜んでいる。

第三中学校区では、夏休みに教職員と地域の方や学校運営協議会委員による熟議を行い、教職員のコミュニティ・スクールへの期待やニーズを直接受け取ることができたのは、とてもよかった。

また、秋には、第三中学校区の小中学生による子ども熟議を行うことができた。

今後の課題として、熟議のねらいをどこにおくのか、熟議を通して、その後になんか課題がみられたように思う。

学校運営協議会の準備会合について、もっと学校運営協議会委員が積極的に関与し、学校運営改善のための協議会について提案していけるようにしてみたい。

【第二中学校区】

昨年度は、まったくといっていいほど動きがみられなかったが、今年度は学校運営協議会をはじめ、部会の開催を企画するなど、動きがみられた。

特に、学校運営協議会の開催を委員が出席しやすい夜開催に変更。多くの方の参加

がみられ、闊達な意見交換が行われた。議論をしたことが少しずつ子どもたちの居場所づくりの取組につながる動きもみられるようになってきた。

熟議も小中学生と学校運営協議会委員・地域関係者で実施され、子どもたちの前向きな意見や考えを聞くことができたのはよかった。関心の高まりを肌で感じる事ができた。

主な今後の課題として、

- ① 中学校区として、子どもたちをめぐる課題やめざす子どもの姿についての共有や取組についての共有と取組に課題がみられる。
- ② 学校運営協議会での協議をより具体化していくための中学校部会の在り方について、今後、検討をしていく必要がある。
- ③ 育てたい資質や能力をめざした「地域の人材や素材を活用した学校の年間計画」について一貫した取組について学校運営協議会委員と教職員との協議の場が必要である。

学校運営協議会委員に

今年度の取組について調査を実施

市内各中学校区学校運営協議会委員のみなさんに、今年度の振り返りの資料として



◆学校運営協議会委員の役割の自覚と議論への参加の程度等(自律性)

◆学校運営協議会での雰囲気

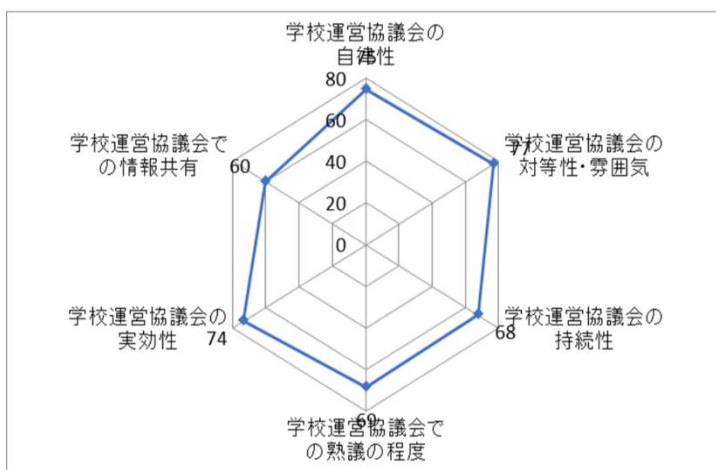
◆学校運営協議会が「めざす子どもの姿」を共有し、取組についての振り返りやよりよい在り方を見直す体制(持続性)

◆学校運営協議会での議論(熟議の程度)

◆学校運営協議会での協議の結果を踏まえた実効性

◆学校運営協議会についての情報共有

を内容にした具体的な調査項目を作成し、結果をとりまとめました。



これらの結果、特に学校運営協議会で「情報共有」のあり方に課題が多くみられることがわかりました。特に、中学校区をめぐる学校の課題についての共有や学校教職員や地域・保護者への情報発信の在り方について検討が必要であるという結果がみられました。

今後、調査の詳細結果についてはまた、お知らせをしたいと思います。

